

平成28年度 岡崎・幸田災害医療 対策本部設置運用訓練 [大規模地震時医療活動訓練]

平成28年8月6日(土) 7時～12時

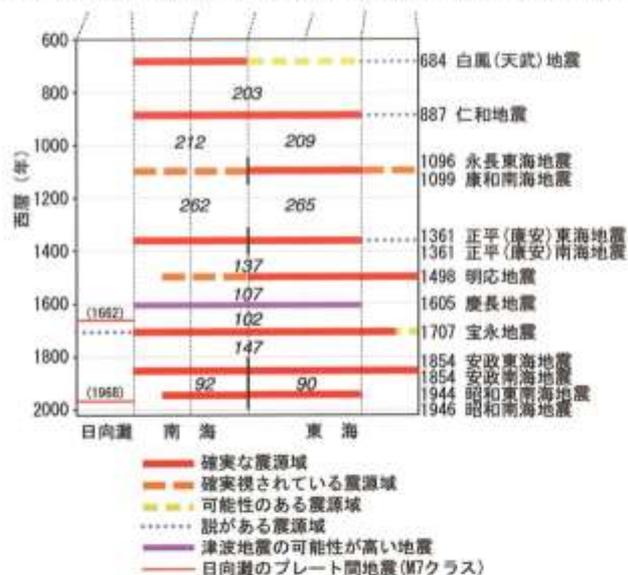
西尾保健所、岡崎市保健総務課、幸田町健康課

南海トラフ巨大地震はおきるのか

南海トラフ巨大地震は歴史的にみて高い確率で発生する可能性があります。

過去の南海トラフ巨大地震と関連災害周期

(平成25年 地震調査研究推進本部「南海トラフ地震活動の長期評価(第二版)について」図2 改変)



- 684年の白鳳地震以降は100～200年周期で発生しています。
- 最近では1944年に発生した昭和東南海地震がありますが、発生から70年経過しており、向こう30年以内には70%の確率で発生するといわれています。

貞観時代(860年～890年頃)の災害発生

(日本三代実録記載)

774年 御嶽山噴火? (木曾三岳黒沢「御岳縁起」)	2014年 御嶽山噴火
863年 越中・越後地震	2004年 新潟中越地震
864年 富士山噴火	? 年 富士山噴火
864年 阿蘇山噴火	2014年 阿蘇山噴火
868年 播磨・山城地震	1995年 阪神・淡路大震災
869年 貞観地震(東北)	2011年 東日本大震災
874年 開聞岳(鹿児島)噴火	2015年 口永良部島新岳噴火
878年 相模・武蔵地震	? 年 首都直下型地震
886年 安房国で地震	
887年 仁和地震(東海・東南海・南海)	? 年 南海トラフ巨大地震

(注:これらの記述は種々の史料・文献を参考にまとめたもので、研究者により諸説あります。)

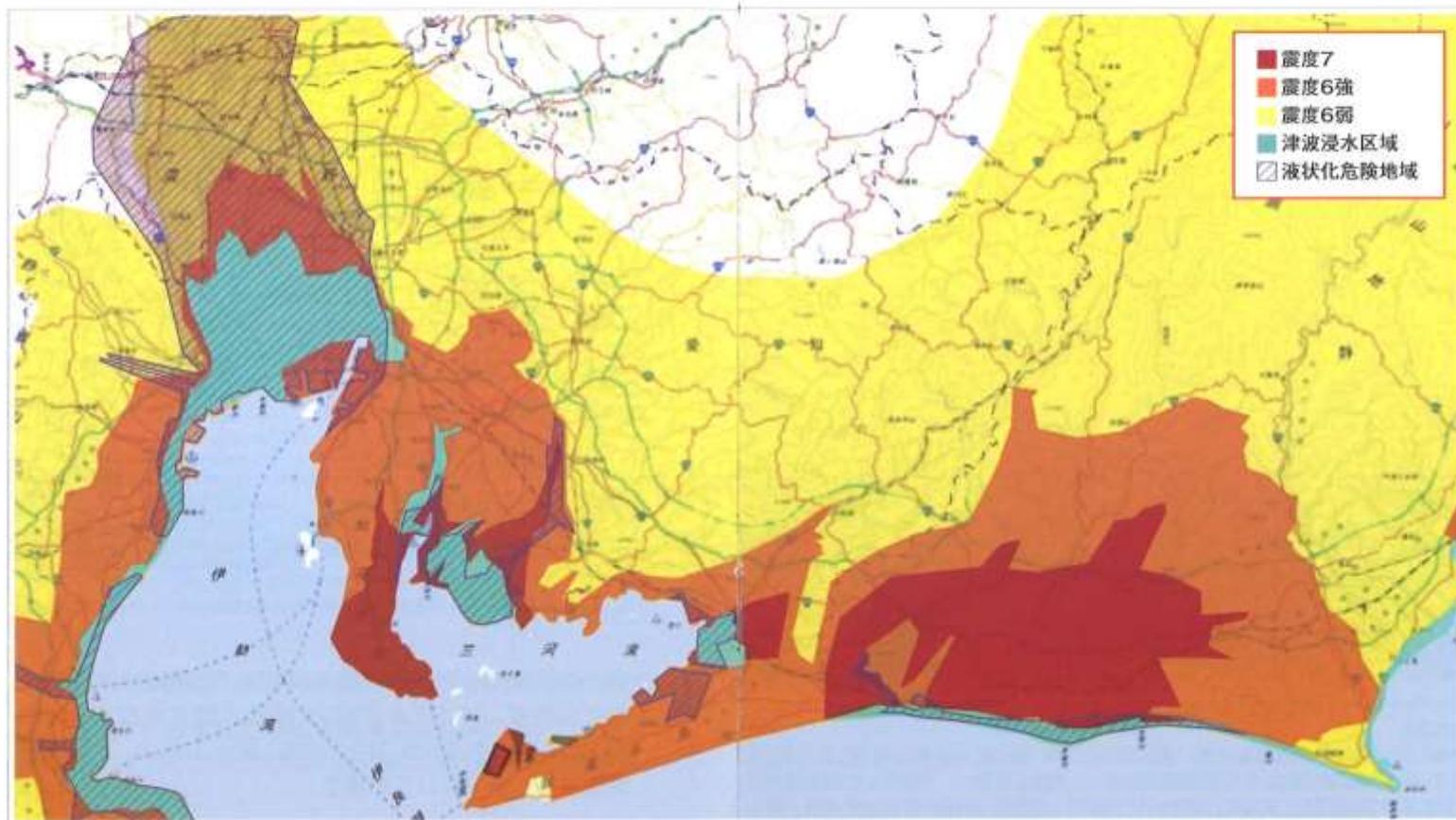
- 最近の災害発生状況は平安時代初期の貞観時代に似ているといわれています。1995年の阪神・淡路大震災を起点とすれば向こう10年以内に南海トラフ巨大地震、富士山噴火、首都直下型地震が発生するともいわれています。

[資料提供]愛知医科大学災害医療研究センター

南海トラフ巨大地震がおきれば ～南海トラフ巨大地震最大モデル陸側津波1ケース～

愛知県防災会議が平成26年に発表した被害想定によれば、震度6強以上の 愛知県西部、知多半島、三河沿岸部の被害は甚大ですが、尾張東部、三河北部などでも震度6弱以上が想定されています。

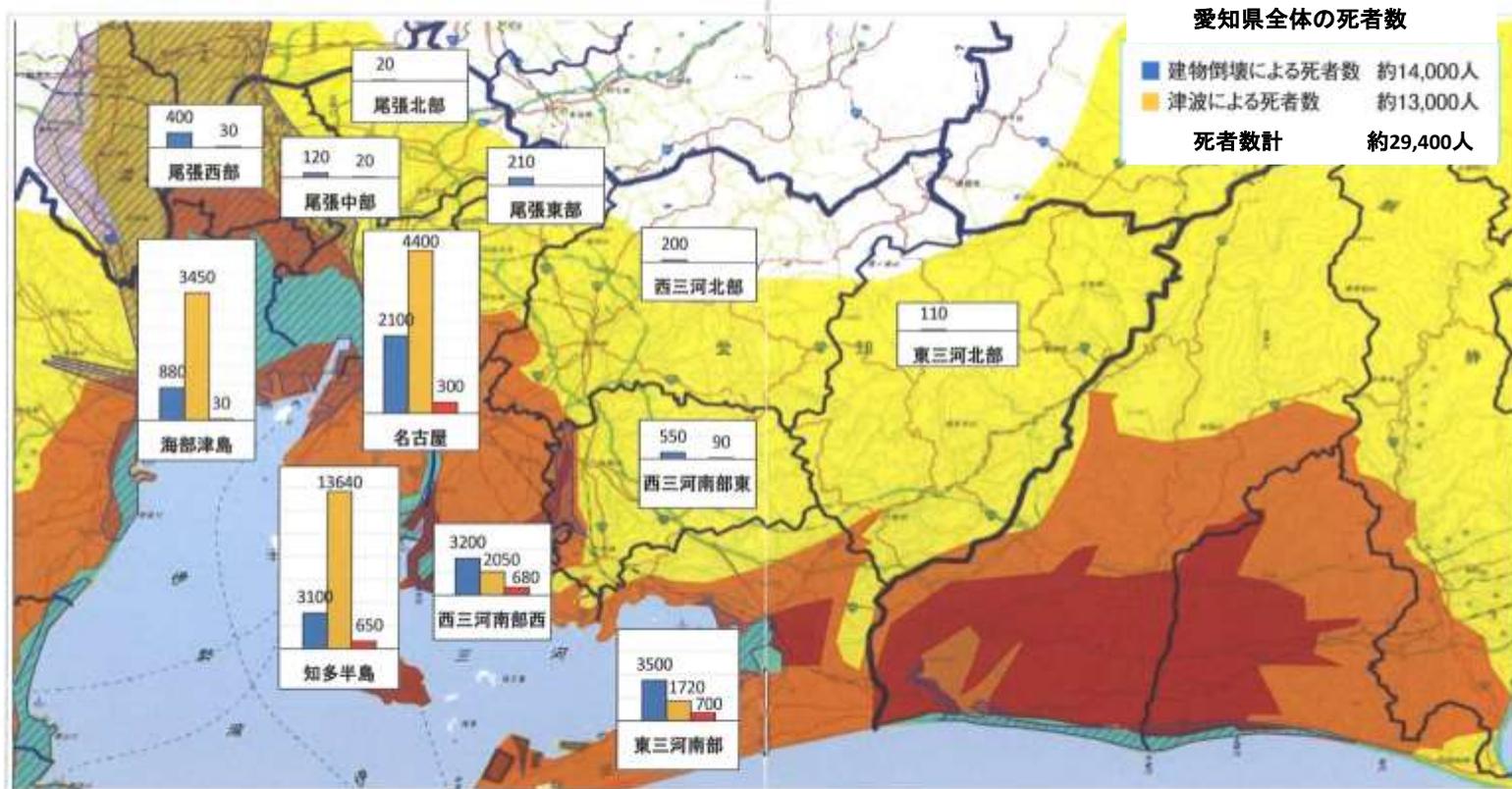
また、南海トラフ巨大地震の揺れは長時間揺れると予測されるため、建物の 被害も多く出る可能性があります。



(国土地理院 地理院地図による)

南海トラフ巨大地震がおきれば ～死者・重症者予測数～

愛知県防災会議が発表した冬・深夜発生時の死者数は、沿岸地域では津波が主な原因となり、内陸部では建物の倒壊により多くの死者が発生すると予測されています。また、重症者も津波により約2,500人、建物倒壊により約23,000人発生すると予測され、被害を軽減するには津波・建物倒壊に対する備えが必要となります。



(国土地理院 地理院地図に死者数を追記)

【愛知県内医療圏】

●名古屋医療圏／名古屋市 ●海部医療圏／津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村 ●尾張中部医療圏／清須市、北名古屋市、豊山町 ●尾張東部医療圏／瀬戸市、尾張旭市、日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町 ●知多半島医療圏／半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町 ●西三河北部医療圏／豊田市、みよし市 ●西三河南部東医療圏／岡崎市、幸田町 ●西三河南部西医療圏／碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市 ●東三河北部医療圏／新城市、設楽町、東栄町、豊根村 ●東三河南部医療圏／豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市

平成28年度 大規模地震時医療活動訓練 (政府訓練)

1 訓練の概要

愛知県を南海トラフ地震の被災地と想定し、全国から参集した災害派遣医療チーム（DMAT）が関係行政機関及び災害拠点病院と連携し、広域医療搬送及び地域医療搬送等の患者搬送、医療活動の実動訓練を実施する。

(訓練想定)

8月5日（金）正午に和歌山県南方沖で**マグニチュード9.1**、愛知県で**最大震度7**の**南海トラフ地震**が発生。
沿岸部を中心に建物倒壊、津波、火災による**多くの死傷者発生**。

【被災県】：愛知県、山梨県、静岡県、三重県

【支援県】：岩手県、東京都、岐阜県、愛媛県

2 訓練実施日

平成28年8月6日（土）7時から17時まで

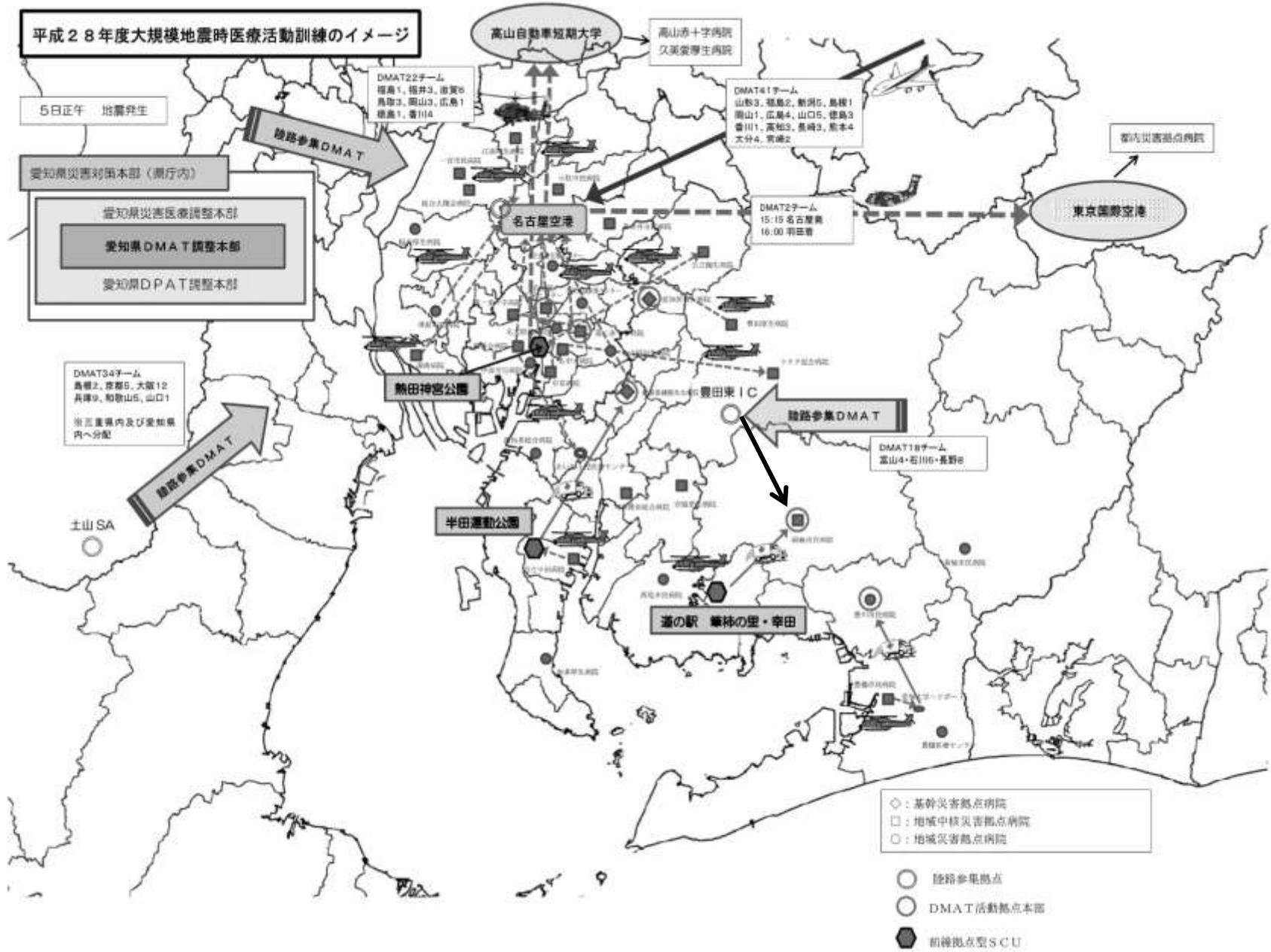
3 避難場所

- ・広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）：県営名古屋空港
- ・前線拠点型SCU：熱田神宮公園、半田運動公園、
道の駅 筆柿の里（幸田町）
- ・その他の訓練場所：愛知県災害情報センター、
各災害拠点病院、各保健所（中核市保健所を含む）

4 訓練参加機関（愛知県の訓練関係機関）

愛知県、厚労省DMAT事務局、DPAT事務局、愛知県警察本部、東海北陸厚生局、中部地方整備局、中部運輸局、東海総合通信局、第四管区海上保安本部、航空自衛隊、陸上自衛隊第10師団、名古屋市、半田市、豊田市、岡崎市、豊橋市、幸田町、災害拠点病院（岡崎市民病院始め35病院）、幸田町消防本部始め8消防本部、日赤愛知県支部、愛知県医師会、愛知県透析医会、愛知県薬剤師会、愛知県医薬品卸協同組合、太平洋フェリー(株)、中部電力(株)、NEXCO中日本(株)、(株)フジドリームエアライン、日本航空(株)など

平成28年度大規模地震時医療活動訓練のイメージ



西三河地域の想定死傷者数

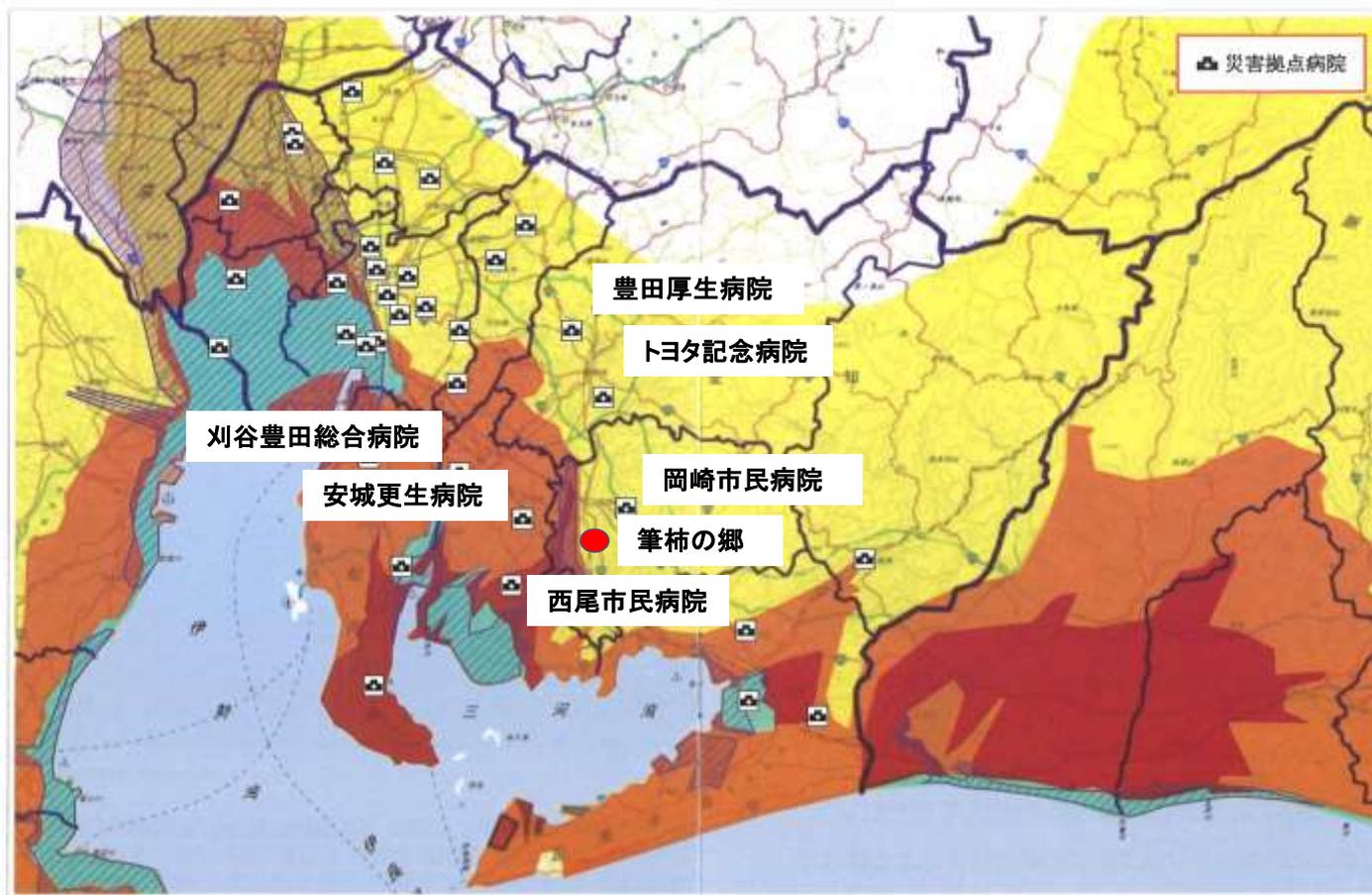
	碧南市	刈谷市	安城市	西尾市	知立市	高浜市	西三南西計
死亡者	(1200)	(400)	(700)	(3,200)	(200)	(300)	(6,000)
重症者	1,150 (230)	630 (126)	1,130 (226)	2,380 (476)	310 (62)	320 (64)	5,920 (1,184)
軽症者	1,900	1,870	2,870	4,770	730	740	12,880
避難者	24,000	8,300	8,300	70,000	2,800	5,000	118,400
計	27,050	10,800	12,300	77,150	3,840	6,060	137,200

※死亡者()は、「計」から除く。重症者()は、赤トリアージの数。

	岡崎市	幸田町	西三南東計		豊田市	みよし市	西三北計
死亡者	(700)	(60)	(760)	死亡者	(200)	(40)	(240)
重症者	920 (184)	90 (18)	1,110 (202)	重症者	200 (40)	90 (18)	290 (58)
軽症者	2,850	400	3,250	軽症者	1,600	400	2,000
避難者	15,000	1,000	16,000	避難者	39,000	1,000	40,000
計	18,770	1,490	20,360	計	40,800	1,490	42,290

南海トラフ巨大地震がおきれば ～災害拠点病院～

- 阪神・淡路大震災以降、地震に強い病院として災害拠点病院が整備され、愛知県には35施設あります。
- 35施設のうち半数近くは被害が甚大な地域にあり、また26,000人近く発生する重症者が押し寄せれば受け入れが困難になることも予測されます。



(国土地理院 地理院地図による)

震度分布と災害拠点病院

震度7	西尾市民病院		
震度6強	碧南市民病院	刈谷豊田総合病院	安城更生病院
震度6弱	岡崎市民病院	豊田厚生病院	トヨタ記念病院

- **西三河南部西圏域**は、**震度6強以上**で大きな被害が予想され、病院機能が制約を受ける可能性もある。
- **西三河南部東圏域**（岡崎・幸田）、**西三河北部圏域**は、**震度6弱**で**病院機能は維持**されると考えられる。

西三河南部東圏域(岡崎・幸田)での訓練

1. 訓練の概要

- 南海トラフ巨大地震の発生により、**西三河南部西地域**(碧海5市、西尾市)で**震度6強以上**、**沿岸部**で**最大震度7**の強い揺れが起き、家屋倒壊、火災、津波等により、**多くの死傷者が発生**。また、液状化等により西三河南部西地域の**災害拠点病院の機能が制約**される。
- **岡崎市民病院**に**DMAT活動拠点本部**を設置し、幸田町内の**道の駅 筆柿の里**に**前線拠点型SCU(広域搬送拠点)**を設置し、**西三河地域全体の医療救護活動**を展開する。
- 西尾保健所、岡崎市、幸田町の3者で岡崎市民病院内に**地域災害医療対策会議(岡崎幸田災害医療対策本部)**を設置し、DMAT活動拠点本部、同病院災害医療対策本部と連携し、災害医療対策会議の**設置・運用訓練**を実施する。

2. 地域災害医療対策会議(岡崎幸田災害医療対策本部)の設置 ・運営訓練について

【内容】

参集訓練……岡崎市保健所及び西尾保健所職員(岡崎市在住)が、**岡崎市保健所に参集**し、通信機器等(衛星携帯電話、岡崎市無線機、WiFiルーター、パソコンなど)を車両に積み込み、**岡崎市民病院へ移動**。幸田町職員は、**MCA無線**、パソコン持参で、直接、岡崎市民病院に参集。

本部設置訓練……病院内に**地域災害医療対策会議を設置**。ネット接続を確立し、**EMIS利用環境の構築**。衛星携帯電話の設置により、県災害医療調整本部との**通信環境の構築**。

病院・救護所……**EMISによる後方支援病院等の被災、稼働状況の状況確認訓練****の情報収集及びEMIS代行入力訓練**実施。
また、**医療救護所との通信・情報収集訓練及びEMIS代行入力訓練**実施。

DMAT活動拠点……DMATからの指示で圏域内だけでなく、**西三河南部西圏域の状況**を**衣浦東部保健所に確認**。

岡崎幸田災害医療対策会議設営



DMAT活動拠点本部設営



DMAT活動拠点本部(モニタ一)



岡崎市民病院災害医療対策本部設営



衛星携帯電話(Docomo)



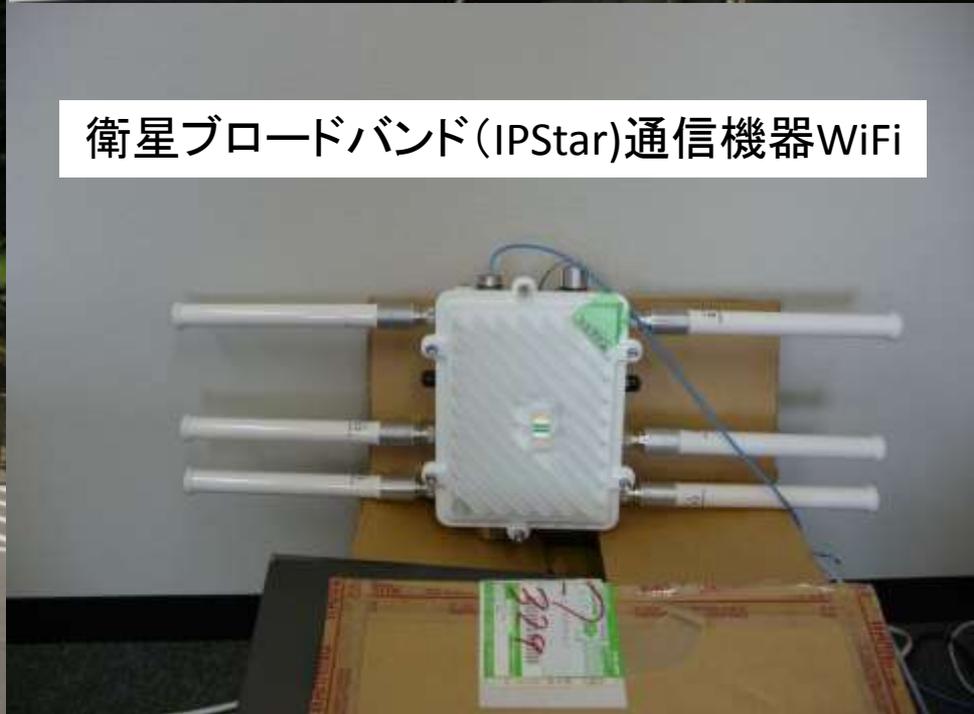
衛星携帯電話(インマルサット)



衛星ブロードバンド(IPStar)通信車両



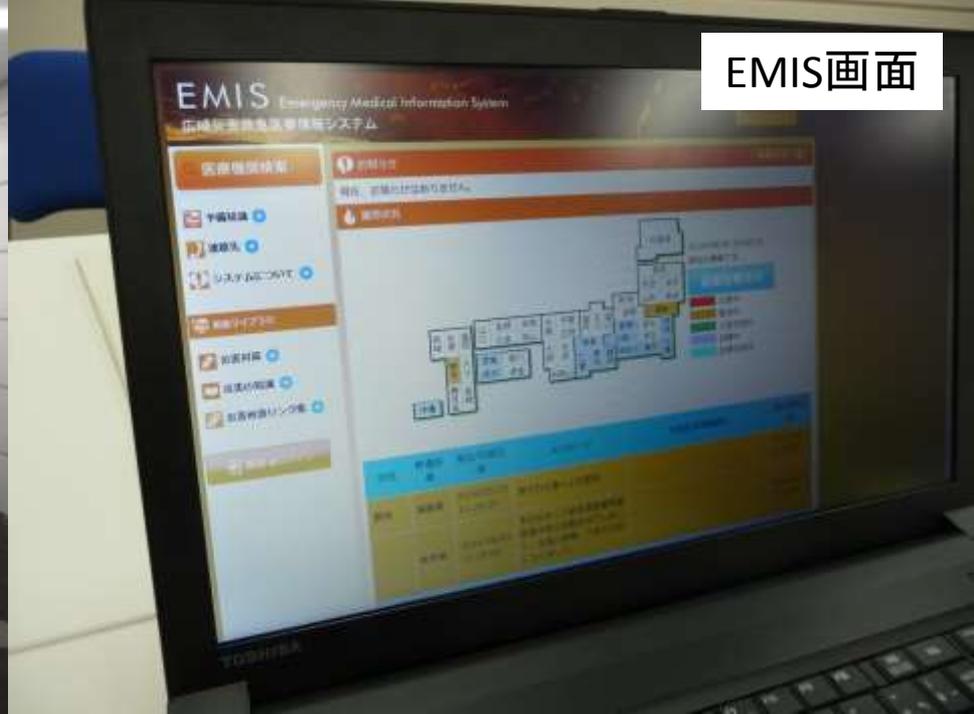
衛星ブロードバンド(IPStar)通信機器WiFi



岡崎幸田災害医療対策本部訓練



EMIS画面



EMIS情報収集・入力訓練



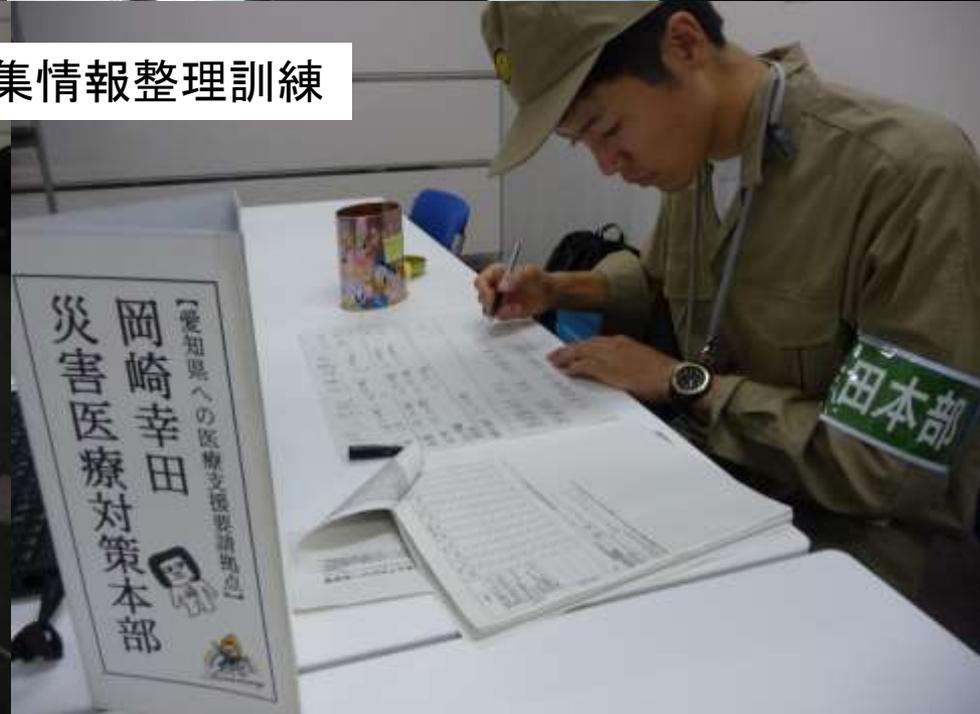
EMIS情報収集・代行入力訓練



衛星携帯電話(ドコモ)通信訓練



医療救護所収集情報整理訓練



岡崎市無線通信訓練



医療救護所状況揭示

大門小学校 医療救護所 23-2709				
男性	3名 (1~8歳)	4名 (9~74歳)	2名 (75歳以上)	合計 9名
女性	2名	1名	2名	5名
創傷	3名 (1~8歳)	2名 (9~74歳)	3名 (75歳以上)	8名
熱	1名 (1~8歳)	2名 (9~74歳)	1名 (75歳以上)	4名
急性呼吸器障害		1名 (9~74歳)		1名
高血圧症				1名
気管支喘息				
患者数合計	14名			
物資不足	不足 / 気管支薬が不足			
	※ 参集医師1名と他スタッフ2名対応中			
幸田町 勤労者体育センター 医療救護所 幸田町大字野瑞字瑞島 50番地1 0564-62-2684				
男性	1名 (1~8歳)	3名 (9~74歳)	2名 (75歳以上)	合計 6名
女性	1名	2名	1名	4名
創傷	1名 (1~8歳)	2名 (9~74歳)	1名 (75歳以上)	4名
骨折		1名 (9~74歳)		1名
熱傷			1名 (75歳以上)	1名
熱	1名 (1~8歳)			1名
急性呼吸器障害		1名 (9~74歳)		1名
高血圧症		1名 (9~74歳)		1名
気管支喘息			1名 (75歳以上)	1名
合計患者数	10名			
物資	充足			

圏域内後方支援病院状況揭示

岡崎南病院

(岡崎市羽根東町 TEL 0564-51-5434)
一般70床 療養72床

① 岡崎南病院		報告日時	2月6日 10時30分
② 医療機関等		報告内容	岡崎南市民病棟等
感染症(例) 例題の恐れ	有・無	有	無
電気(例) 例題	可・不可	可	不可
水(例) 例題	可・不可	可	不可
医療ガス(例)	充・不足	充	不足
医薬品・衛生資器材(例)	充・不足	充	不足
多数患者の受診	有・無	有	無
職員不足	充・不足	充	不足

宇野病院

(岡崎市中岡崎町 TEL 0564-24-2211)
一般115床 療養65床

① 宇野病院		報告日時	2月6日 10時30分
② 医療機関等		報告内容	岡崎市民病棟等
感染症(例) 例題の恐れ	有・無	有	無
電気(例) 例題	可・不可	可	不可
水(例) 例題	可・不可	可	不可
医療ガス(例)	充・不足	充	不足
医薬品・衛生資器材(例)	充・不足	充	不足
多数患者の受診	有・無	有	無
職員不足	充・不足	充	不足

葵セントラル病院

(岡崎市中田町 TEL 0564-53-7815)
一般30床(透析有)

① 葵セントラル病院		報告日時	2月6日 10時30分
② 医療機関等		報告内容	岡崎市民病棟等
感染症(例) 例題の恐れ	有・無	有	無
電気(例) 例題	可・不可	可	不可
水(例) 例題	可・不可	可	不可
医療ガス(例)	充・不足	充	不足
医薬品・衛生資器材(例)	充・不足	充	不足
多数患者の受診	有・無	有	無
職員不足	充・不足	充	不足

北斗病院

(岡崎市仁木町 TEL 0564-66-2811)
一般56床 療養214床

① 北斗病院		報告日時	2月6日 10時30分
② 医療機関等		報告内容	岡崎市民病棟等
感染症(例) 例題の恐れ	有・無	有	無
電気(例) 例題	可・不可	可	不可
水(例) 例題	可・不可	可	不可
医療ガス(例)	充・不足	充	不足
医薬品・衛生資器材(例)	充・不足	充	不足
多数患者の受診	有・無	有	無
職員不足	充・不足	充	不足

DMAT活動拠点本部運営訓練



DMAT活動拠点本部 ホワイトボード

時	架	要	内容
10:25	HP本部	刈巻部HP ミツノ	被災者(各HP)可々付了
10:25			
10:30	石川中央HP DMAT	HP本部	西尾HP病院搬送難(254) →筆神SCUへ搬送する模様
"	高岡HP DMAT	"	石川東土中央DMAT到着
"	砺波総合HP DMAT	"	高岡病院DMAT到着
"	松任総合HP DMAT	"	砺波総合HP DMAT到着
"	富山大DMAT	"	松任石川中央病院DMAT到着
10:40	富山大DMAT	"	富山大DMAT到着
10:45	中野本部長	"	西尾一打撃のり
10:50	田崎中野 DMAT	豊知DMAT 中野本部長	西尾病院 河川 山尾 西尾
10:55	中野本部長	スワロウDMAT	HP 117

DMAT既状況

筆神SCU

- 信大DMAT
- 名古屋中央DMAT(1台)
- 砺波総合DMAT
- 刈巻部総合DMAT
- 北信綜合病院DMAT

石川中央病院
高岡病院
砺波総合病院
富山大学病院

DMAT本部

DMAT本部

DMAT本部

DMAT本部

DMAT本部

石川中央病院 DMAT本部

高岡病院 DMAT本部

砺波総合病院 DMAT本部

富山大学病院 DMAT本部

刈巻部 DMAT本部

北信綜合病院 DMAT本部



前線拠点型SCU(道の駅 筆柿の里)訓練風景

